



コミュニティ交通導入手引きの骨子案

令和5年11月14日
柏市交通政策課

1. コミュニティ交通導入に向けた手順

ステップ
1

- 1 検討組織の設立
- 2 需要調査などの実施

検討事項：対象と出来る地域条件の整理

ステップ
2

- 3 運営組織の設立
- 4 導入システムの検討

検討事項：運営組織の要件の整理

ステップ
3

- 5 運行計画の作成
- 6 実証運行の準備
- 7 実証運行の実施
- 8 事業性の検証

検討事項：実証運行の地域負担の整理

検討事項：継続条件，本格運行条件の整理
(完全自主運行？収支率の割合設定？)

ステップ
4

- 9 本格運行の開始への移行 又は 運行終了

2. 意見交換会

(1) 目的

公共交通空白不便地域の解消を目的に、地域主体による移動手段を導入するための手引きを作成するため、市民の方々にご意見をお聞きしたものです。

(2) 参加者

①利根町会、②弥生町会、③八幡町会、④西山町会の町会員および市全体で関心のある方

計：12人

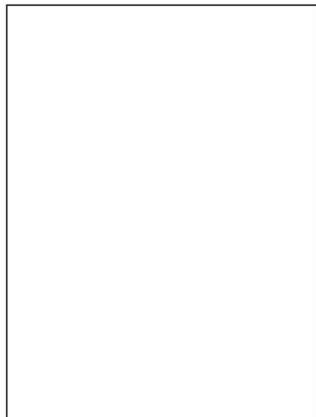
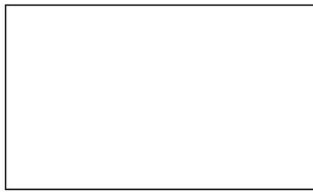
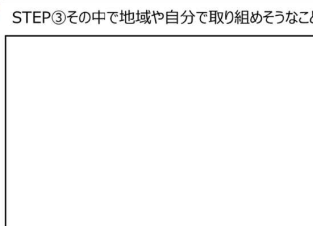
(3) 開催日程

- ・日時：10月13日（金）14時～
- ・場所：柏市上下水道局401会議室

(4) 班分け

A班	6人
B班	6人

(5) ワークシートの内容

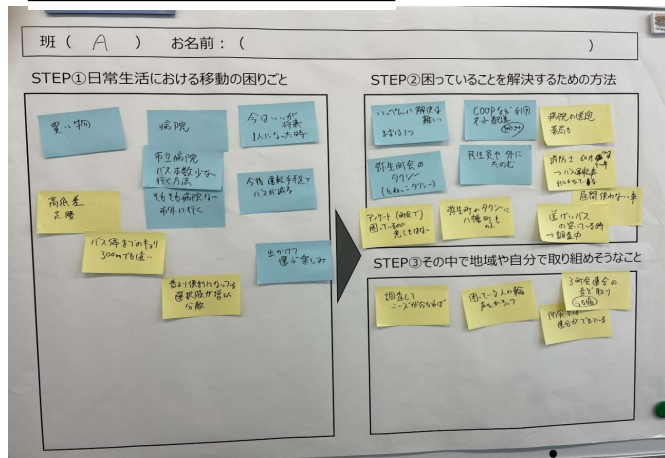
班 () お名前： ()	
STEP①日常生活における移動の困りごと	STEP②困っていることを解決するための方法
	
	STEP③その中で地域や自分で取り組みそうなこと
	

意見交換会の様子



3. 意見交換会で出された意見

A班のワークシート



B班のワークシート



日常生活における移動の困りごと

- 買物や通院の移動で困っている。
- 市役所に行きにくい。
- 一人暮らしの高齢者が買い物する場合は、行きは良いが帰りは荷物を持って帰るのが大変である。

困っていることを解決するための方法

- 既存の企業送迎車両の活用が考えられる。
- 住民自ら運行しようとするとう交通事故の問題や運賃等の事務処理の問題が大変になる。
- 全て公共交通で解決することは難しい。

そのなかで地域やご自身で取り組みそうなこと

- 住民自ら取り組めるものとしては、十分な調査をし、単独の町会だけでなく周辺町会と連携して考えていけるようにしたい。
- 地域のネットワークを活用して、地域が主体的に関わる取り組みの機運を高めることが重要である。